

公益財団法人日米医学医療交流財団 留学助成

研修報告書 (2023年度 助成者)

作成日 2023年 8月 31日

氏名 (フリガナ)	生方 紗貴(ウブカタ サキ)
研修先機関名	Hawaii Tokai International College
研修期間	2023年8月14日(月)～8月19日(土)
大学名	慶應義塾大学
学年	5年

今回、医学部夏期集中医学英語研修に参加させていただきました。1週間と短い期間でしたがスケジュールは濃密で、非常に充実したプログラムでした。このような機会をいただき感謝申し上げます。私は来年に参加を予定しているアメリカでの臨床実習に向けて医学英語を学ぶためにこのプログラムに参加しました。自分が想定していた以上に多くのことを学ぶことができました。

まず、この5日間で最も時間を費やしたことは現地の先生方と JABSOM の医学生の方を交えた問診とプレゼンテーションです。JABSOM の学生の方に模擬患者さんになっていただき問診を行い、その後に現地の先生に向かって問診した内容と鑑別疾患のプレゼンテーションを行い、フィードバックをいただくという流れを繰り返し何度も行いました。これまで OSCE や自大学での病院実習において、日本語で問診やプレゼンテーションを行ったことはありましたが、問診の直後にプレゼンテーションを行うということは初めてでした。それを英語で行うということはとても難しく感じましたが、ハワイの先生方と学生の方がとても温かく丁寧に教えていただいたおかげで、英語を話すプレッシャーを感じながらも、意欲的に取り組むことができました。こうした中で、医学英単語や臨床上の会話表現を学ぶことができたことはもちろん、模擬患者さんや先生と話しながら、何が重要なことなのかを論理的に考えようとするのができたように思います。まだまだ未熟ではあるもの上達することができました。

また、ハワイで働かれている医師の先生方のお話を伺い直接お話しできたことはとても貴重な経験でした。先生方のご出身はさまざまで、それぞれのバックグラウンドやそこからの人生経験を教えていただき。今後のモチベーションとなりました。日米の医療の違いについても知る事ができました。

プログラムでは、全国から集まった志の高い医学生と交流し、忙しいスケジュールの中で切磋琢磨できたことはとても刺激的でした。それぞれに留学の予定や将来の目標があり、視野が広がりました。今後の皆の活躍を楽しみに思います。

ハワイの素晴らしい気候と環境の中でこのような貴重な経験ができましたこと、小玉正智先生、公益財団法人日米医学医療交流財団の方々をはじめこのプログラムに関わってくださった全ての方に心より感謝申し上げます。今回のプログラムで得たことを活かして、来年のアメリカでの臨床実習に臨みたいと思います。